



OBAYASHI  
ROAD

大林道路が提案する雨水流出抑制技術

# 地下貯水工法



## 雨水を地下に貯留し、排水路への流出を抑制する

そこで、今注目されているのが地下空間を利用した貯水システムです。建物の屋根や駐車場に降った雨水を地下の貯留槽に一時的に貯留し、地中に浸透または徐々に放流して河川への負荷を低減できます。地上部は芝生などの緑地として利用できるほか、駐車場やグラウンドとしても利用できます。

# 地下貯水工法



## 概要

地下貯水工法とは、掘削などして地中に設けた空間に遮水シートまたは透水シートを設置し、その中に高空隙率タイプのプラスチック等の滞水材を入れてできた空隙に水を貯留するものです。上部は土砂等が混入しないよう透水シートを形成し、その後埋め戻しをするため、地上の土地を有効に活用することができます。流出抑制の場合、遮水シートと保護シートを使用して貯留する貯留型と透水シートを使用して地中に浸透させる浸透型があり、用途・目的に合わせた貯留施設を構築できます。

## 特長

- 雨水の流出を抑制し、都市型浸水災害へ対応
- 地上部は緑地や駐車場として使用可能
- 敷地に合わせた規模・形状の設計
- 施工が容易で経済的



## 施工例



## 適用箇所

- 校庭下
- グラウンド下
- 公園下
- 工場敷地内
- 住宅団地内
- 駐車場下
- ゴルフ場内

